

平成28年度 茅ヶ崎養浜環境影響調査

神奈川県水産技術センター—相模湾試験場

主任研究員 相澤 康

調査内容

○水中画像調査

ROV(自航式水中カメラ)、スキューバ潜水により、海底の状況(泥化、ゴミ等)を確認する。

○底質調査

粒度組成、強熱減量、COD、全硫化物

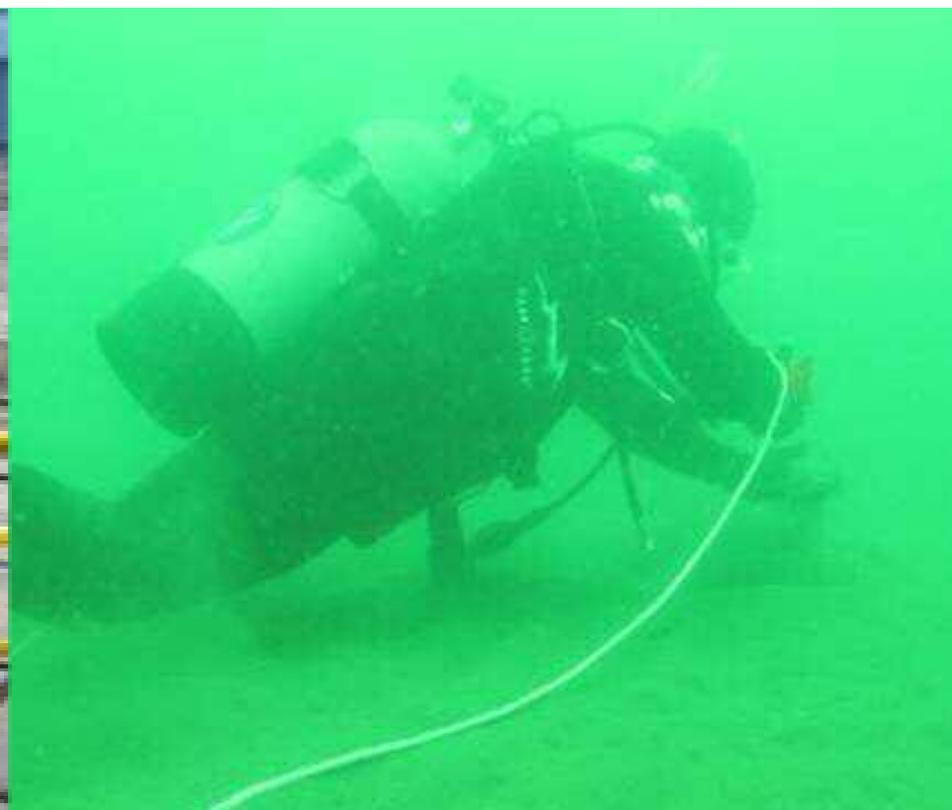
○底生生物調査

個体数、種類数、多様度、指標生物

調査内容

○水中画像調査

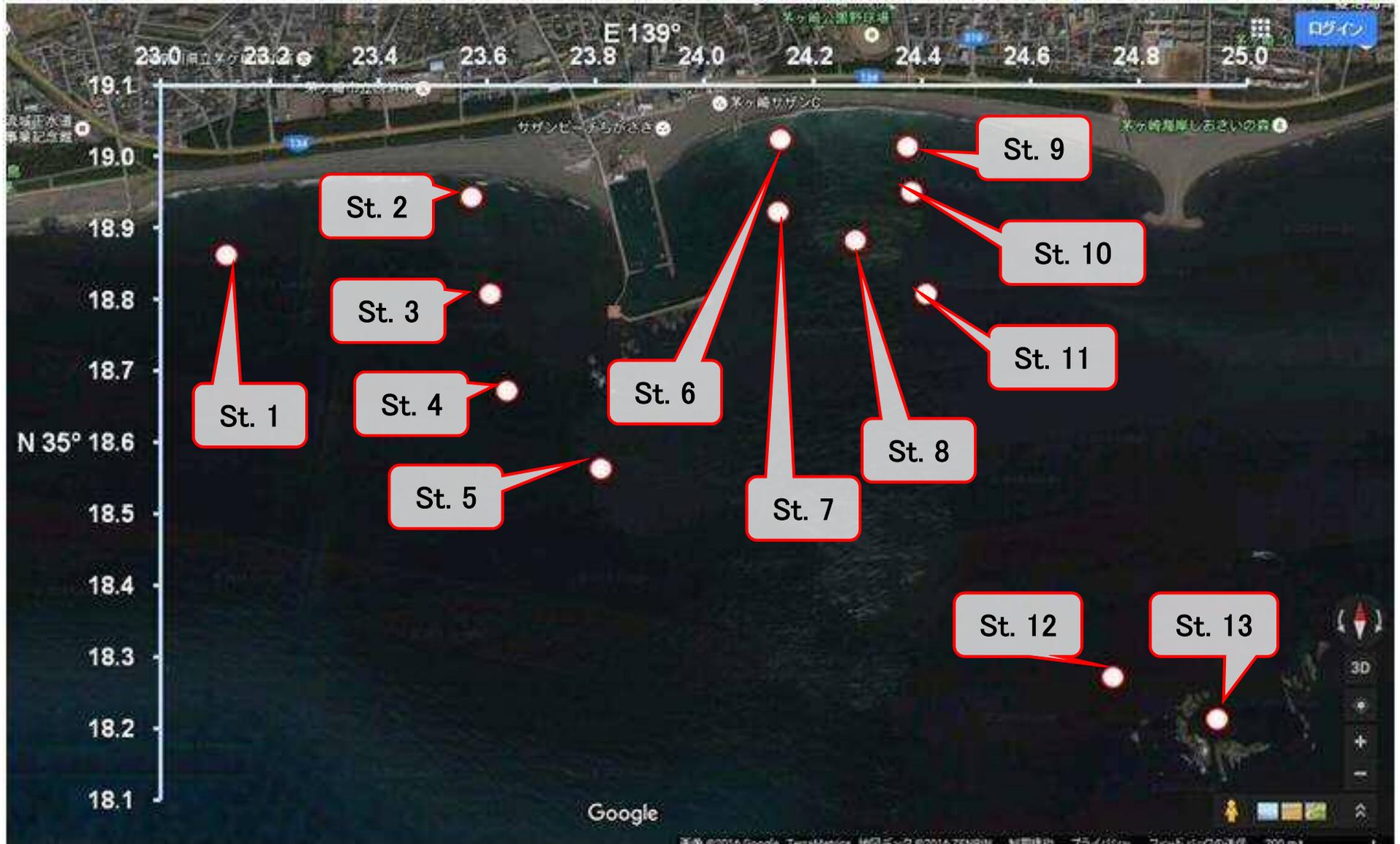
ROV(自航式水中カメラ)、スキューバ潜水により、海底の状況(泥、ゴミ等)を確認する。



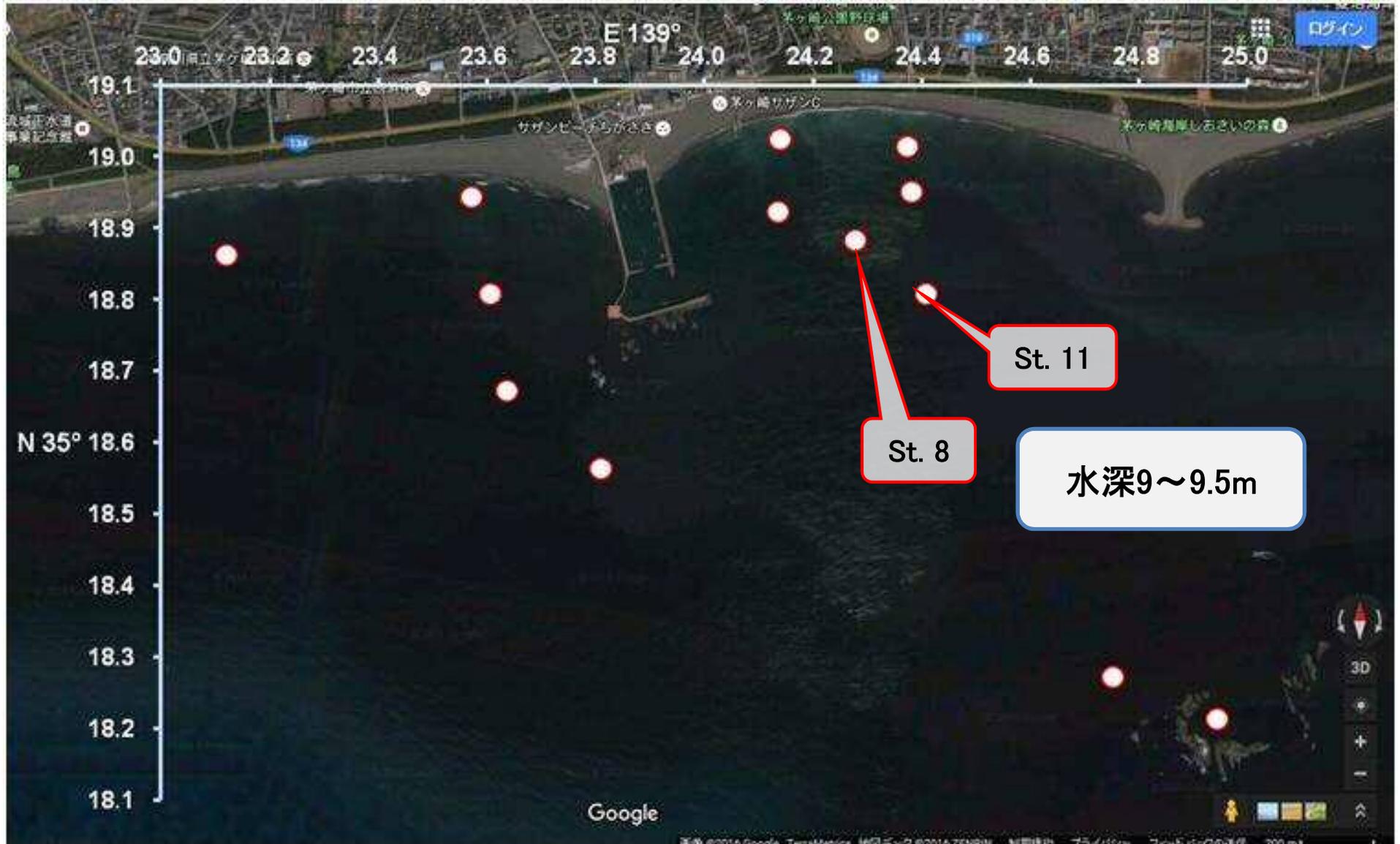
調査定点

定点	地名	緯度N		経度E		水質	底質 底生 生物	水中 画像
		度	分	度	分			
1	柳島4.5m	35	18.863	139	23.12	○	○	○
2	西浜3m	35	18.944	139	23.57	○	○	○
3	西浜6m	35	18.808	139	23.605	○	○	○
4	スズキ島9.5m	35	18.673	139	23.636	○	○	○
5	スズキ島12m	35	18.564	139	23.808	○	○	○
6	中海岸-西-3m	35	19.025	139	24.139	○	○	○
7	中海岸-西-8m	35	18.923	139	24.135	○	○	○
8	中海岸9m	35	18.883	139	24.277	○	○	○
9	中海岸-東-3.5m	35	19.015	139	24.373	○	○	○
10	中海岸-東-7m	35	18.952	139	24.381	○	○	○
11	中海岸-東-9.5m	35	18.809	139	24.407	○	○	○
12	烏帽子岩-25m	35	18.273	139	24.752	○	○	○
13	烏帽子岩中	35	18.214	139	24.944	—	—	○

調査定点



調査定点(中海岸St.8, 11)

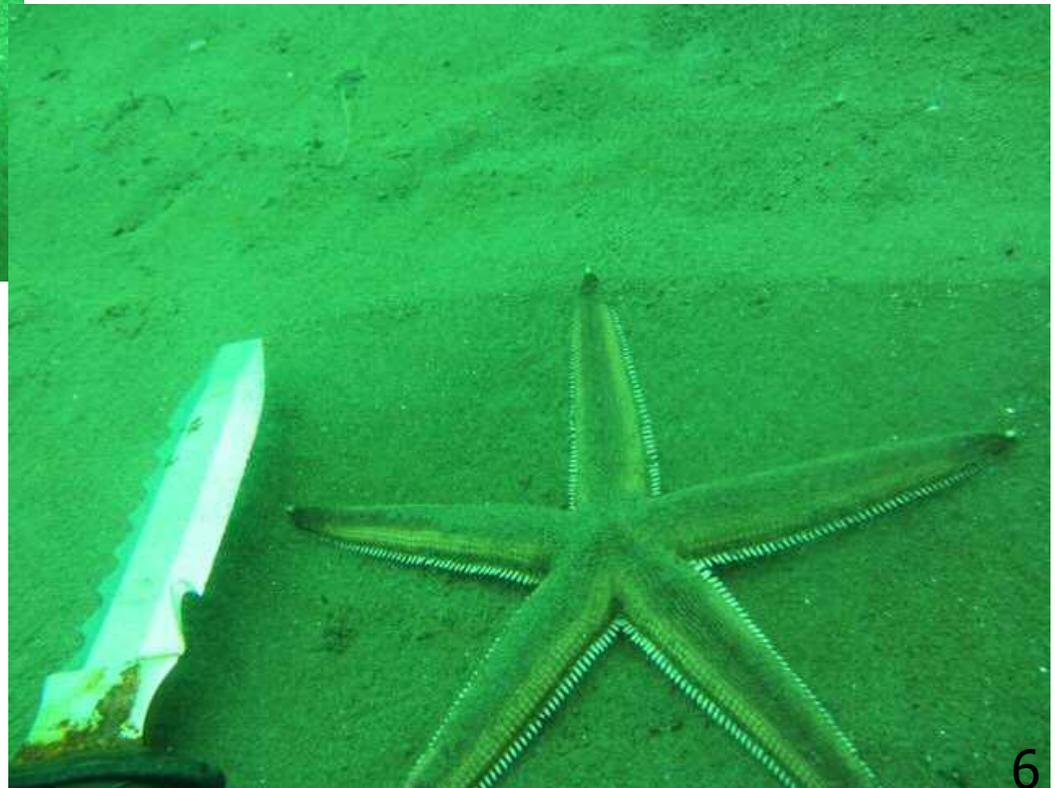


調査定点(中海岸St.8, 11)

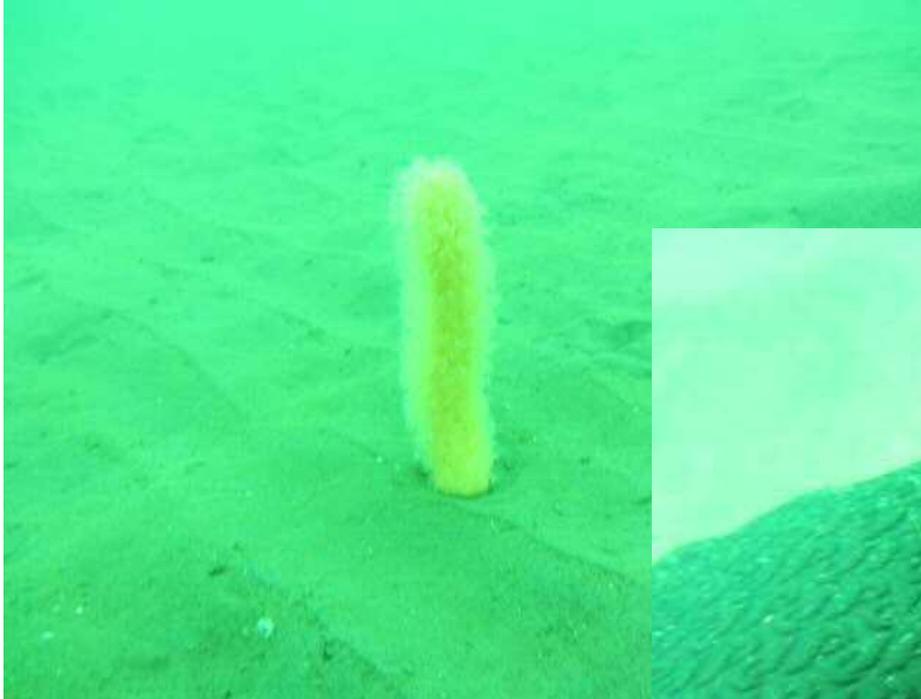


カエルアンコウ

スナヒトデ



調査定点(中海岸St.8, 11)



ウミサボテンの仲間

ツメタガイの卵塊(砂茶碗)



調査定点(中海岸St.8, 11)



明るい灰色
細砂が主体
酸化的

調査定点(中海岸St.8, 11)



モミジガイ
濾過性生物による掃鉢状の地形

調査定点(中海岸St.8, 11)



明るい灰色
細砂が主体(細粒分が混じる)
酸化的

調査定点(中海岸St.8, 11)

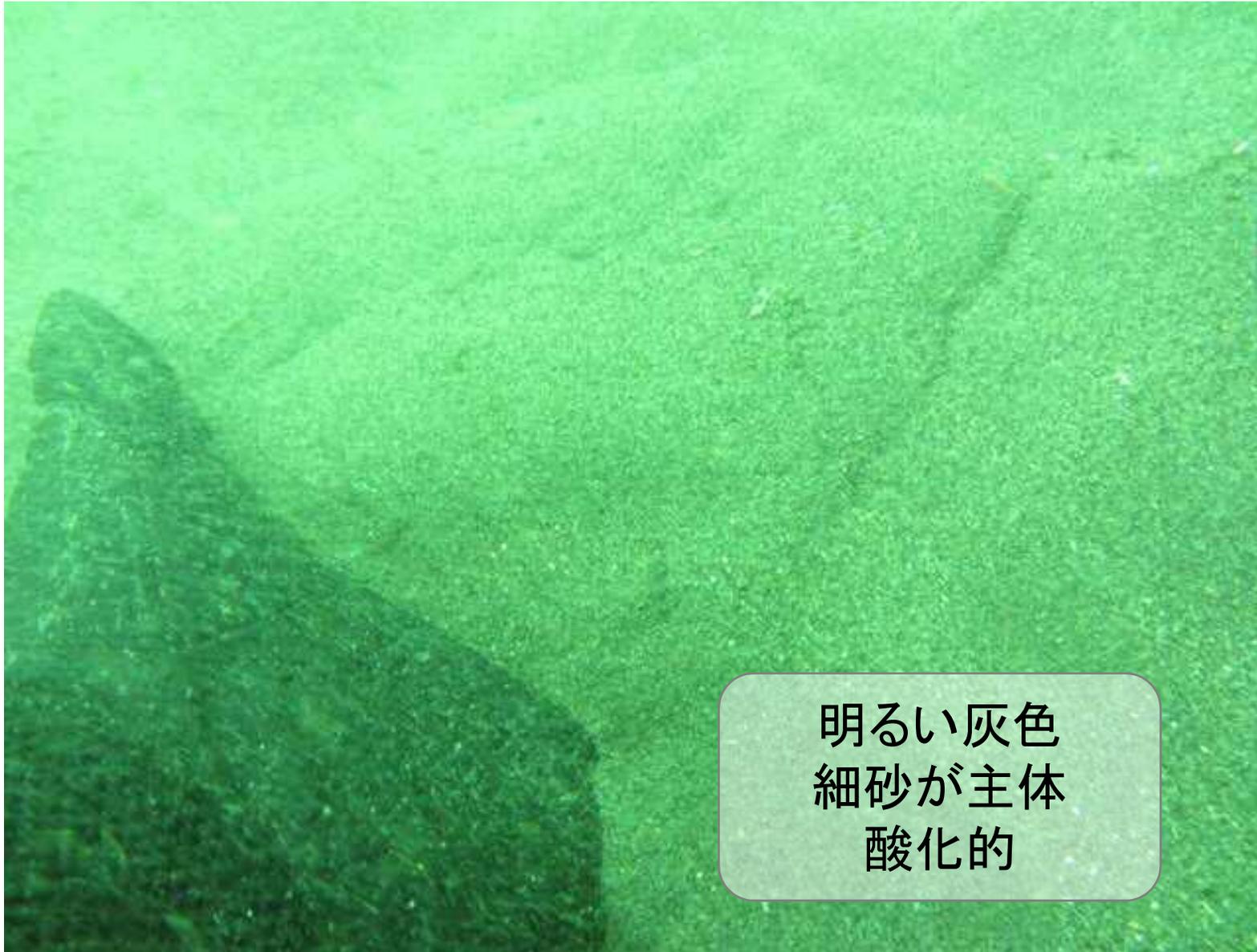


植物片 等

調査定点（中海岸St.8, 11）

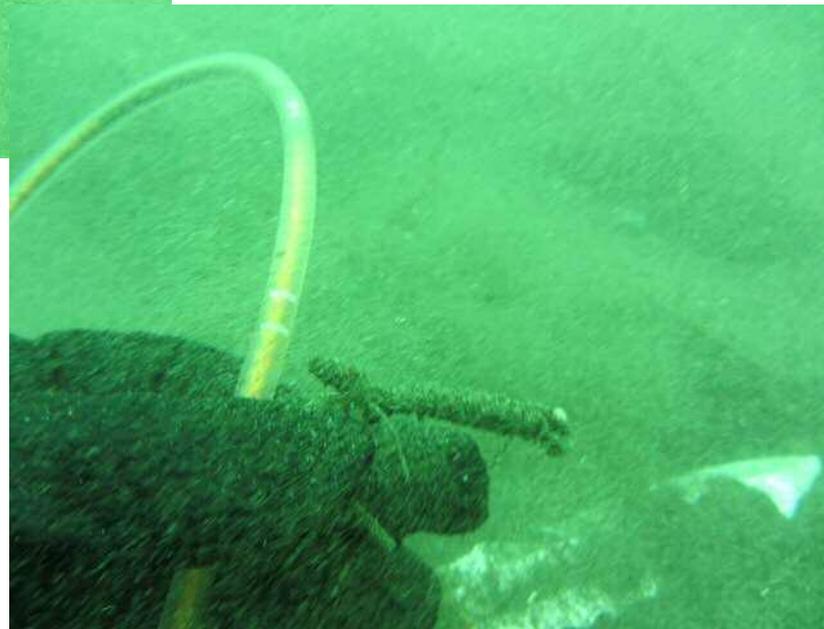
- 水深8～9m。
- 明るい灰色、細砂が主体で酸化的な環境と考えられる。
- モミジガイ、スナヒトデ、ウミサボテン、ツメタガイ、カエルアンコウ、その他濾過性生物を確認。
- 流木等を確認。

調査定点(対照区 浜須賀)



明るい灰色
細砂が主体
酸化的

調査定点(対照区 浜須賀)



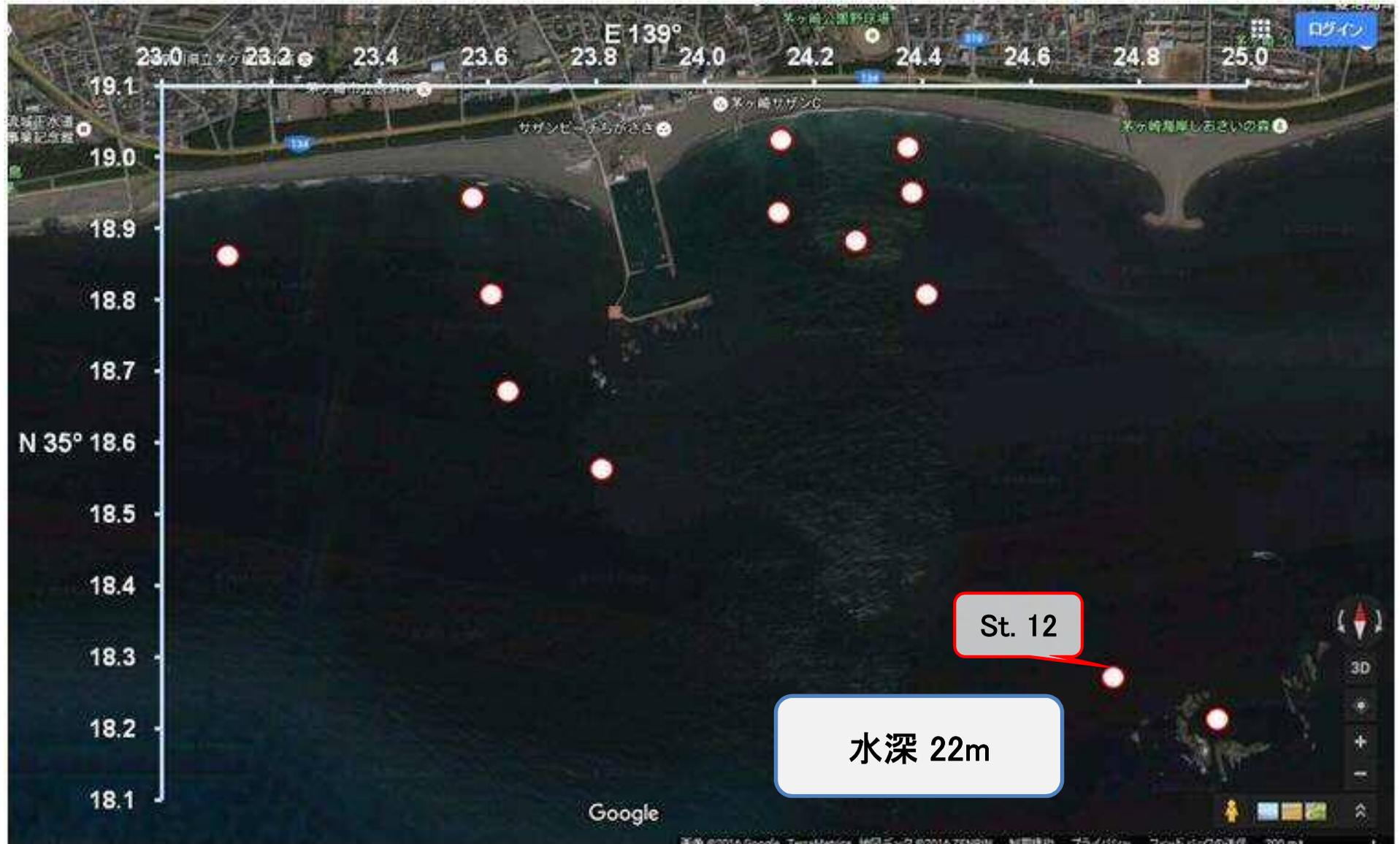
植物片 等

調査定点(対照区 浜須賀)

○水深8～9m。

○明るい灰色、細砂が主体で酸化的な環境と考えられる。

調査定点(烏帽子岩 St.12)



調査定点(烏帽子岩 St.12)



調査定点(烏帽子岩 St.12)



調査定点(烏帽子岩 St.12)



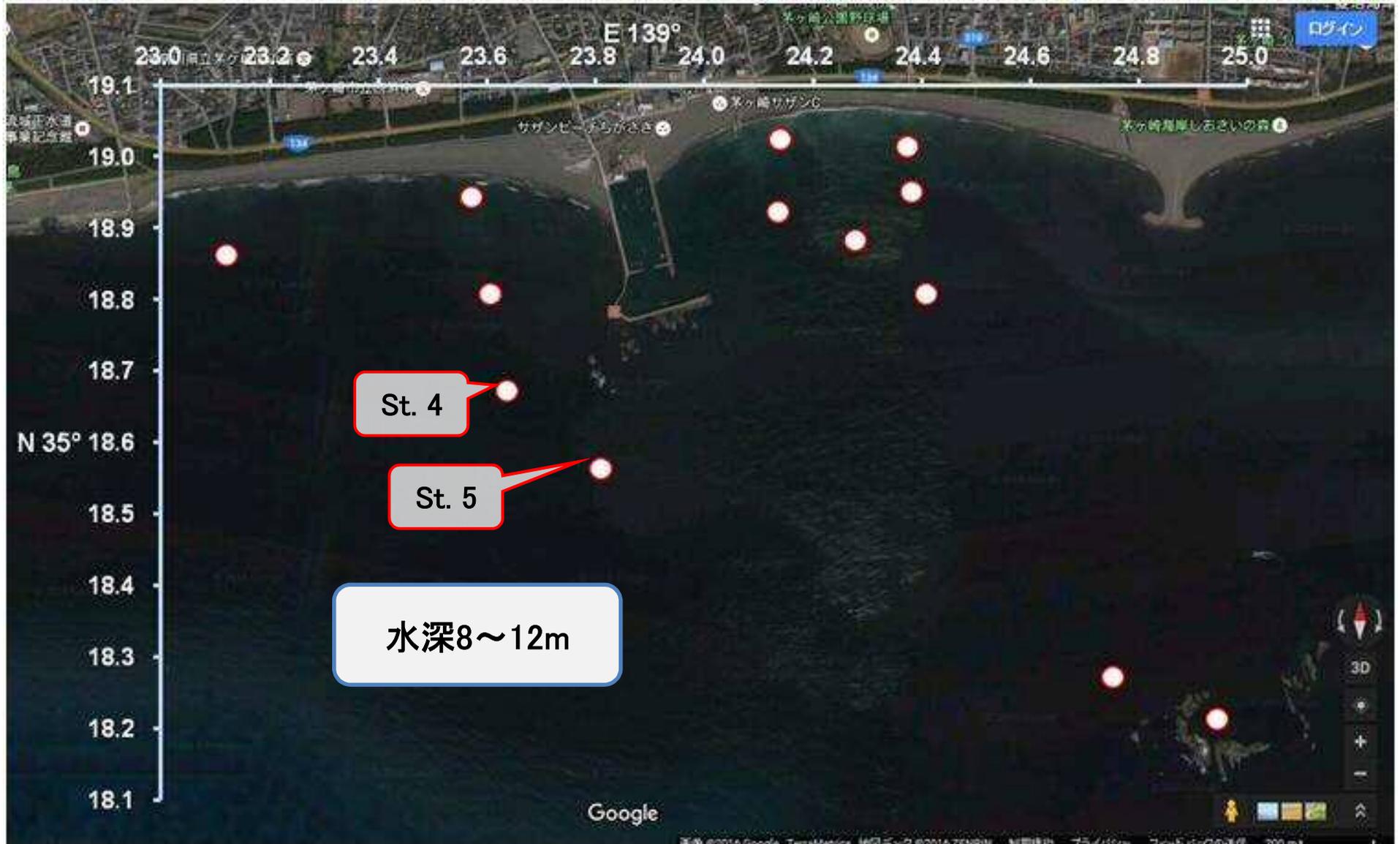
調査定点(烏帽子岩 St.12)

○水深22m。

○明るい灰褐色、酸化的な環境と考えられる。

○グミモドキ、アミ類の群泳、サビハゼ、ヒメジ、カナガシラ、その他濾過性生物等を確認。

調査定点(スズキ島 St.5, 4)



調査定点(スズキ島 St.5, 4)

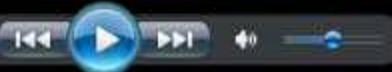
動画4分

DIR: 352°
DEP: 011M

明るい灰色
細砂が主体
酸化的
モミジガイ

00:18

DVD



調査定点(スズキ島 St.5, 4)



調査定点(スズキ島 St.5, 4)



調査定点(スズキ島 St.5, 4)

- 水深10m。
- 明るい灰色、細砂が主体で酸化的な環境と考えられる。
- 岩礁では小型の紅藻類が繁茂。
- モミジガイ、ブリ幼魚(ワカシ)、アミ類の群泳を確認。

今後の予定

- 底質調査・底生生物調査を実施して、底質環境をモニタリングする。
- 水中画像調査は、茅ヶ崎市地先において、必要に応じて新たに調査点を設定して調査を実施する。